

令和2年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	令和2年度 SSH 理数科サイエンスコース 課題研究発表会
期 日	令和2年6月17日（水）13時～16時30分
会 場	長岡ニューオータニホテル NC ホール
対 象	本校2年生理数科42名、3年生理数科56名 合計98名の生徒
目 的	科学及び数学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技能の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、県内SSH指定校生徒・教員、大学教員、保護者、中学生、本校理数科1、2、3年生が長岡技術科学大学で一堂に会して盛大に行っていた発表会は、新型コロナウイルス対応のため、規模を縮小し、場所も変更して行った。 ・本校理数科3年サイエンスコース生徒（全16グループ）が課題研究の内容と成果、今後の展望を発表した。 （口頭発表のみでポスターは長岡高校に掲示）。 ・2年生は研究発表を聞き、質問することで、自分達の研究課題を発見する機会を得た。（1年生は密を避けるために不参加。）
	
口頭発表の様子	口頭発表の様子
	
口頭発表の様子	質疑応答の様子

アンケート
評価

このような取り組みによって、自分にどのような力が
ついたと思いますか。(49名回答、自己評価のべ人数を表示)

		自己評価集計(人)
1	物事に対する好奇心もつ力	13
2	自ら意欲的にものごとを考える力	19
3	課題を見つける力	16
4	ものごとを探求する力	10
5	問題を解決する力	11
6	論理的に思考する力	27
7	ものごとを観察・洞察する力	8
8	創造性や独創性	8
9	特定の領域における知識力と常識力	3
10	知識や常識を応用する力	6
11	パソコン等情報機器を活用する能力	18
12	チームワークを活用する力	21
13	リーダーシップを発揮する力	8
14	目的に応じたコミュニケーションができる力	10
15	プレゼンテーション能力・表現力	21
16	レポート作成能力	12

自分の研究や発表を客観的に5段階評価してください。

		評価の平均
1	自主的・意欲的に取り組んだか	4.1
2	課題を見つけ、探求し、問題を解決したか	4.0
3	じっくりと観察・洞察をし、論理的に考えたか	4.1
4	テーマ設定や実験・実習の手法に独創性があったか	3.9
5	テーマに関する知識や常識が十分に身についたか	3.9
6	発表がわかりやすく、プレゼンテーションが的確であったか	3.8

感想など	<ul style="list-style-type: none">• 以前から興味があった「行列」に触れることが出来て良かった。• しっかり評価するなら論文か発表の録画を技大の先生に見てほしかった。• 始めの方はぐだぐだになってしまうと思っていたが、終わってみると結構充実した研究が出来たと思った。• パワーポイントなどを分かりやすく作成するための力が付いた。• 論理的思考力や協調性などを学べて、研究の楽しさを知ることが出来た。• 出来れば、後輩に引き継いでほしいと思う。• 研究を重ねるごとに、少しずつお互いの信頼度が増してきて、普段余り話さない人と話すきっかけになった。• 楽しくて、大変で、忙しい体験ができて良かった。
------	---